

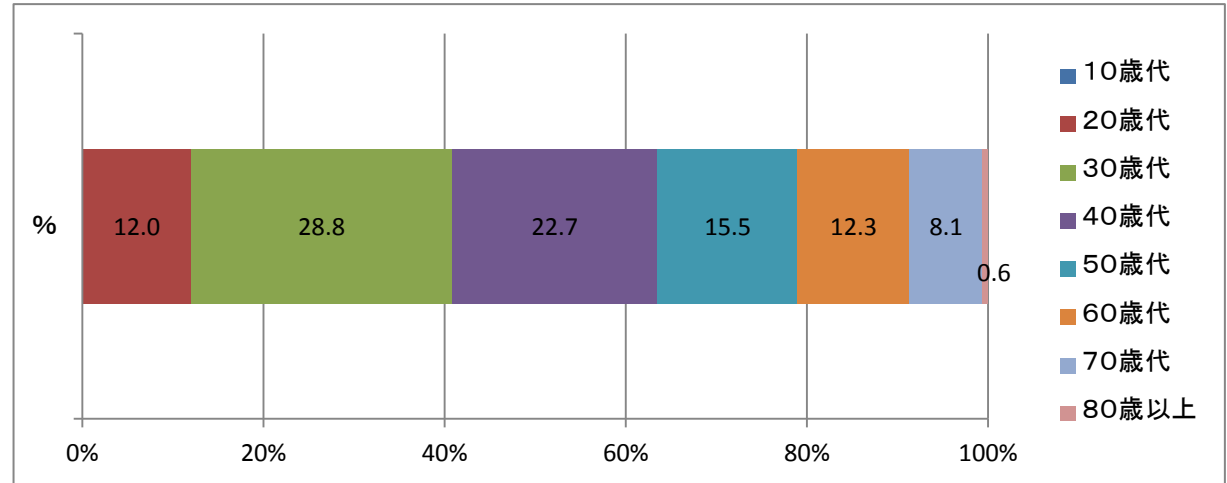
「わかやま市地域の絆づくり交流会」及び「地域のつながり」についての調査結果

□ 調査期間 平成26年1月17日～平成26年1月30日

□ 調査の概要 和歌山市では、地域住民が主体となり、各種団体・機関、事業者行政などが力をあわせて、地域で安心して暮らせるまちづくりを目指す『地域福祉計画』を平成27年3月に策定予定です。
『地域福祉計画』策定にむけ、「地域のつながり」について皆さまのご意見をお聞きしたいので、アンケートを実施しました。

□ 対象者数 309（平成26年1月17日現在）

(内訳)	人数	%
10歳代	0	0.0
20歳代	37	12.0
30歳代	89	28.8
40歳代	70	22.7
50歳代	48	15.5
60歳代	38	12.3
70歳代	25	8.1
80歳以上	2	0.6
合計	309	100.0

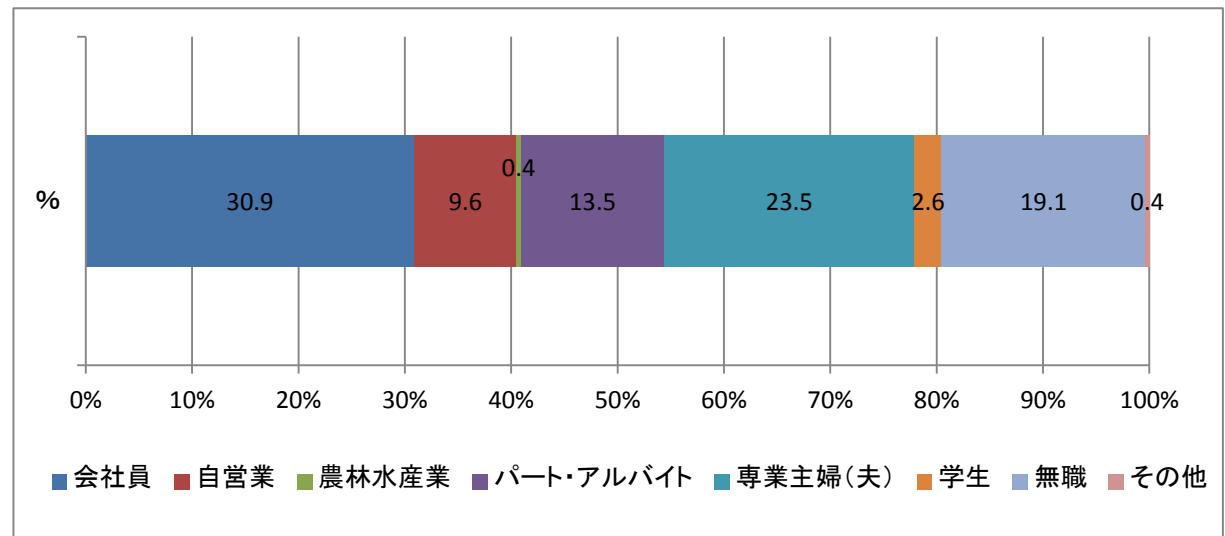


□ 回答者数 230

□ 回答率 74.4%（平成26年1月30日）

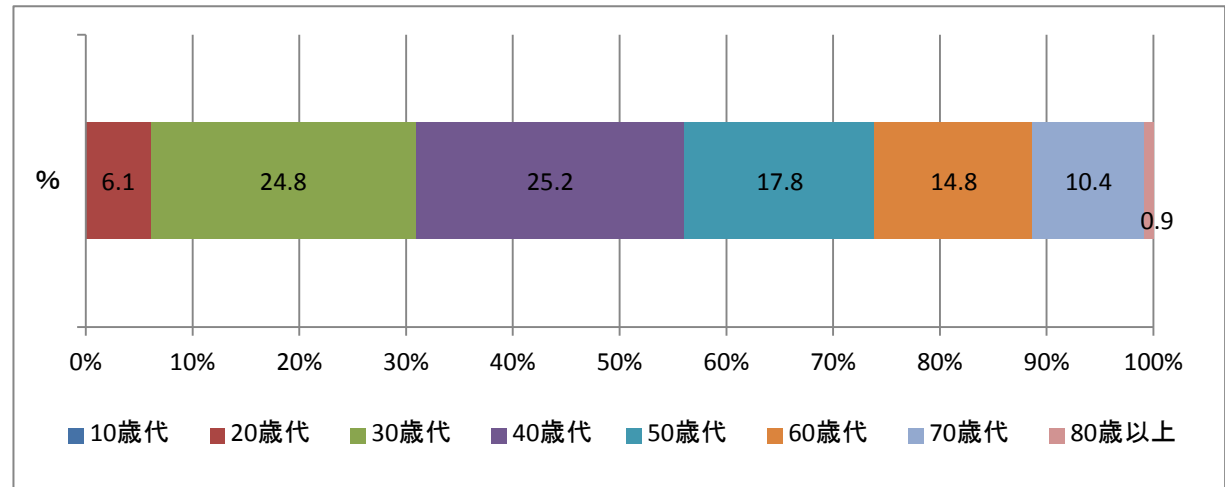
【ご職業】

回答	回答数	%
会社員	71	30.9
自営業	22	9.6
農林水産業	1	0.4
パート・アルバイト	31	13.5
専業主婦(夫)	54	23.5
学生	6	2.6
無職	44	19.1
その他	1	0.4
合計	230	100.0



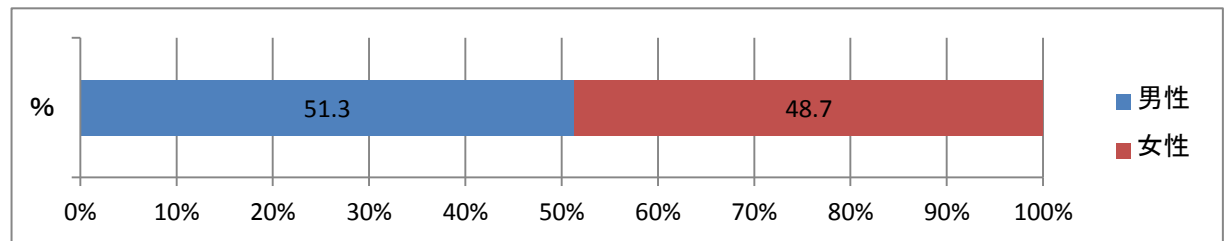
【年齢】

回答	回答数	%
10歳代	0	0.0
20歳代	14	6.1
30歳代	57	24.8
40歳代	58	25.2
50歳代	41	17.8
60歳代	34	14.8
70歳代	24	10.4
80歳以上	2	0.9
合計	230	100.0



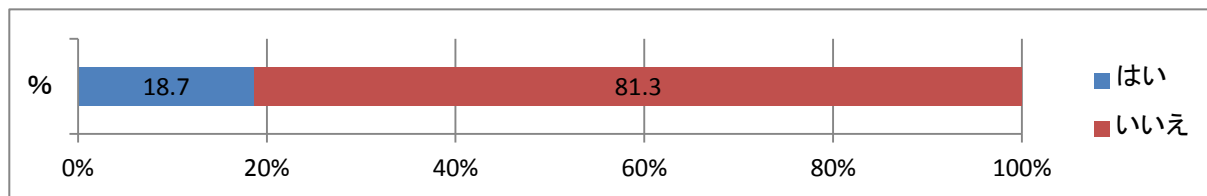
【性別】

回答	回答数	%
男性	118	51.3
女性	112	48.7
合計	230	100.0



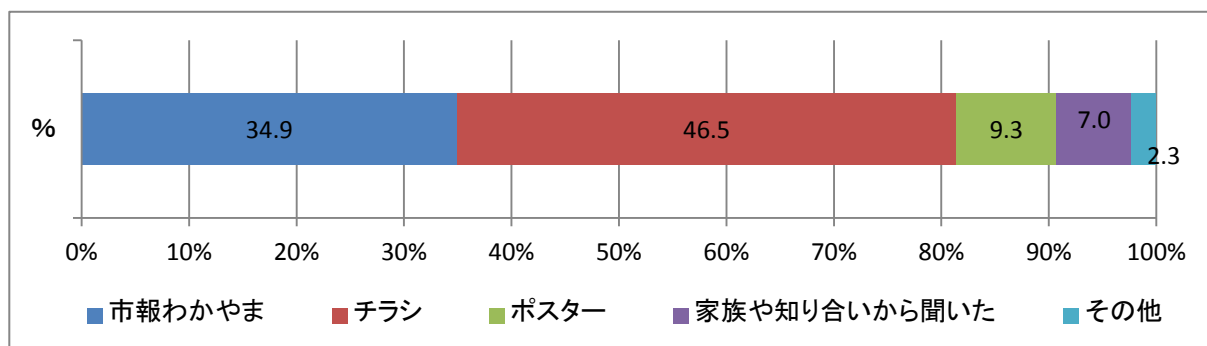
問1 和歌山市では、住民参加による地域福祉の推進、地域住民同士の連携強化などを目的として、1月から3月にかけて各地区で「わかやま地域の絆づくり交流会」を開催します。「わかやま地域の絆づくり交流会」が開催されることを知っていましたか。

回答	回答数	%
はい	43	18.7
いいえ	187	81.3
合計	230	100.0



問1-1 「はい」と回答された方は、何で知りましたか。(N=43)

回答	回答数	%
市報わかやま	15	34.9
チラシ	20	46.5
ポスター	4	9.3
家族や知り合いから聞いた	3	7.0
その他	1	2.3
合計	43	100.0

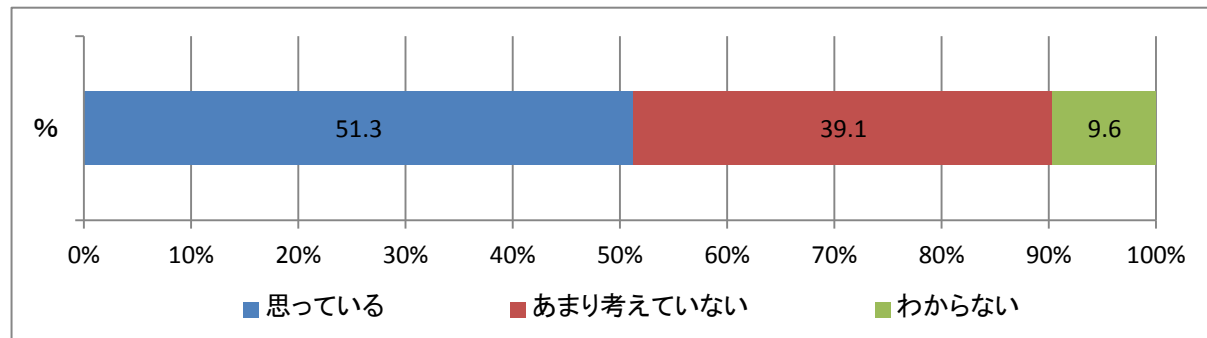


問1-1-1 「その他」と回答された方は、詳しくご記入ください。

・回覧板

問2 あなたは、日頃、地域の一員として、何か地域のために役立ちたいと思っていますか。それとも、あまりそのようなことは考えていませんか。

回答	回答数	%
思っている	118	51.3
あまり考えていない	90	39.1
わからない	22	9.6
合計	230	100.0



問2-1 「思っている」と回答された方にお聞きします。何か地域のために役立ちたいと思っているのはどのようなことですか。(N=118、複数回答)

回答	回答数	%
青少年健全育成に関する活動※1	21	17.8
体育・スポーツ・文化に関する活動※2	30	25.4
自主防災活動や災害援助活動	52	44.1
人々の学習活動に関する指導、助言、運営協力などの活動※3	27	22.9
国際交流(協力)に関する活動※4	19	16.1
社会福祉に関する活動※5	21	17.8
保健・医療・衛生に関する活動※6	15	12.7
自然・環境保護に関する活動※7	45	38.1
交通安全に関する活動※8	32	27.1
募金活動、チャリティーバザー	16	13.6
町内会などの地域活動※9	43	36.4
子育て関連※10	26	22.0
自分の職業を通して	27	22.9
その他	7	5.9

※1…ボーイスカウト・ガールスカウト活動、こども会など

※2…スポーツ・レクリエーション指導、祭り、学校でのクラブ活動における指導など

※3…料理、英語、書道など

※4…通訳、難民救助、技術援助、留学生援助など

※5…老人や障害者などに対する介護、身の回りの世話、給食、保育など

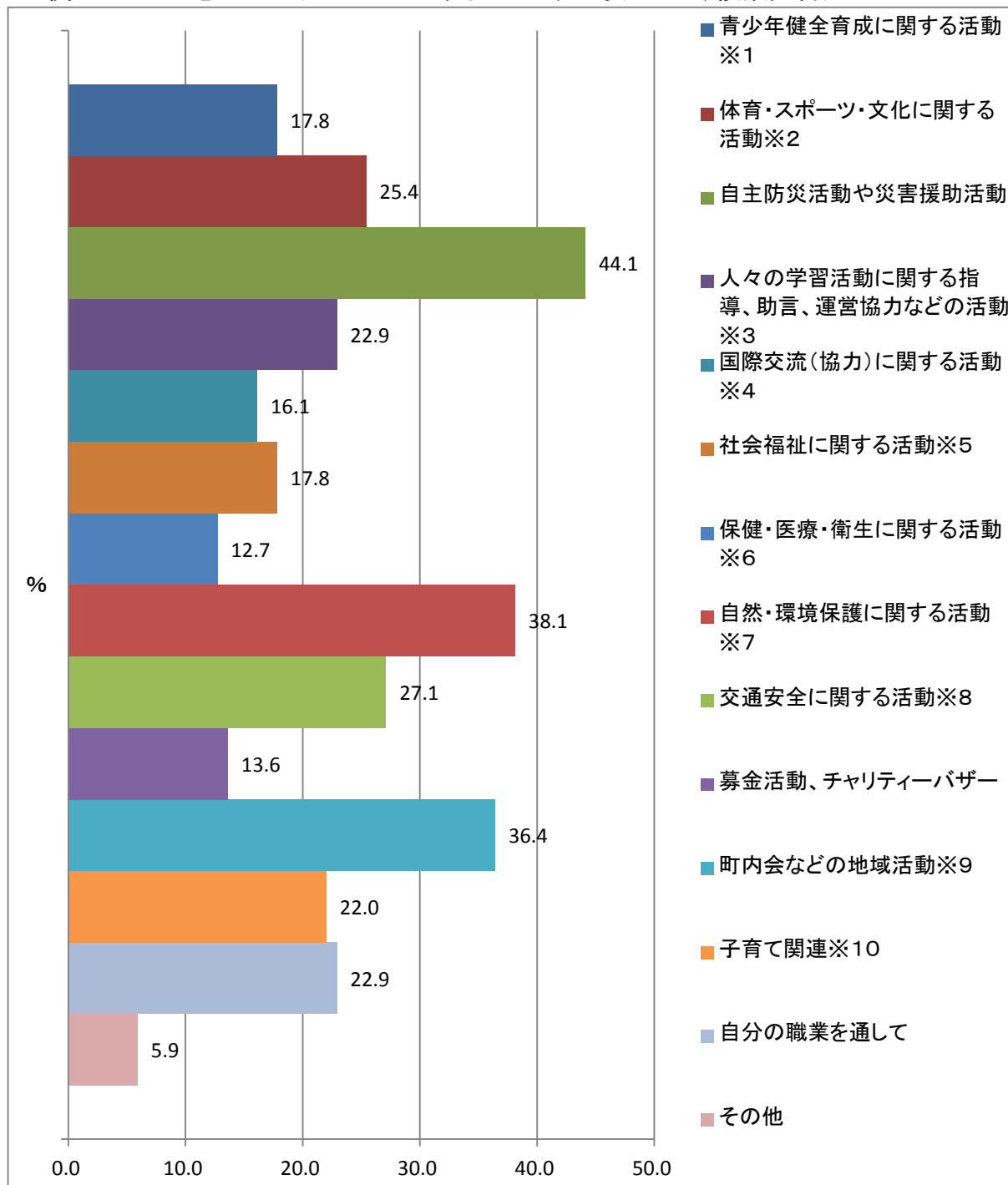
※6…病院ボランティアなど

※7…環境美化、リサイクル活動、牛乳パックの回収など

※8…子どもの登下校時の安全監視など

※9…お祝い事や不幸事などの手伝い、町内会や自治会などの役員、防犯や防火活動など

※10…託児、子育て相談や子育てサークル支援など

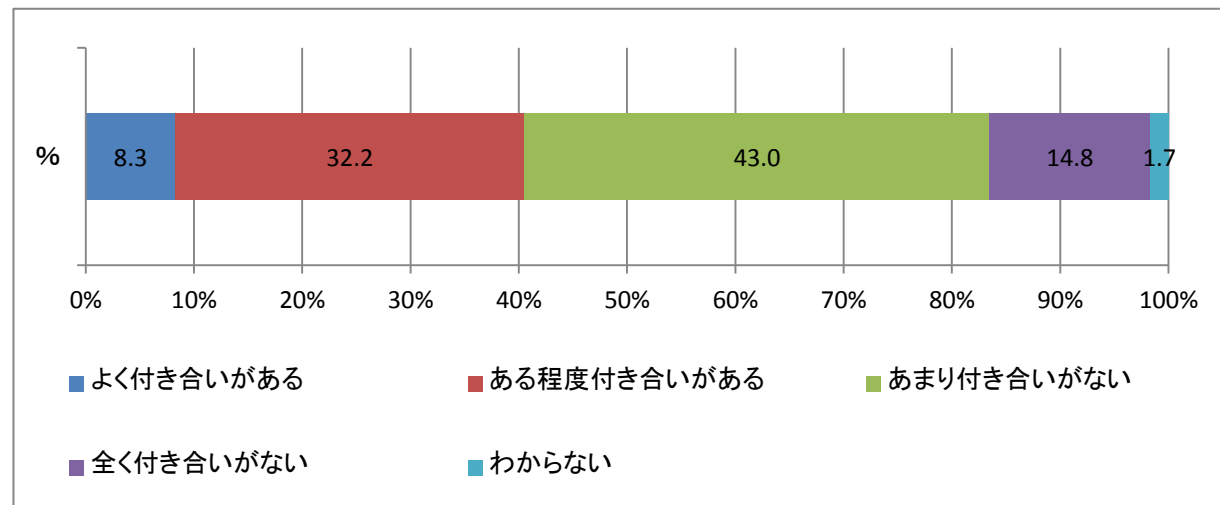


問2-1-1 「その他」と回答された方は、詳しくご記入ください。

- ・趣味の音楽を通じて演奏などのボランティア活動を行っている。
- ・保健所で動物関係のボランティア
- ・語り部として、ボランティアで皆さん方と接している。
- ・他地域からの来訪者(観光客)を迎え、楽しんでもらうための活動。
- ・郷土歴史、文化の教育。
- ・日本で誇れる和歌山市のビジョンづくり、まちづくりの企画検討や推進トライアル。
- ・18歳までの子ども専用傾聴電話のボランティア

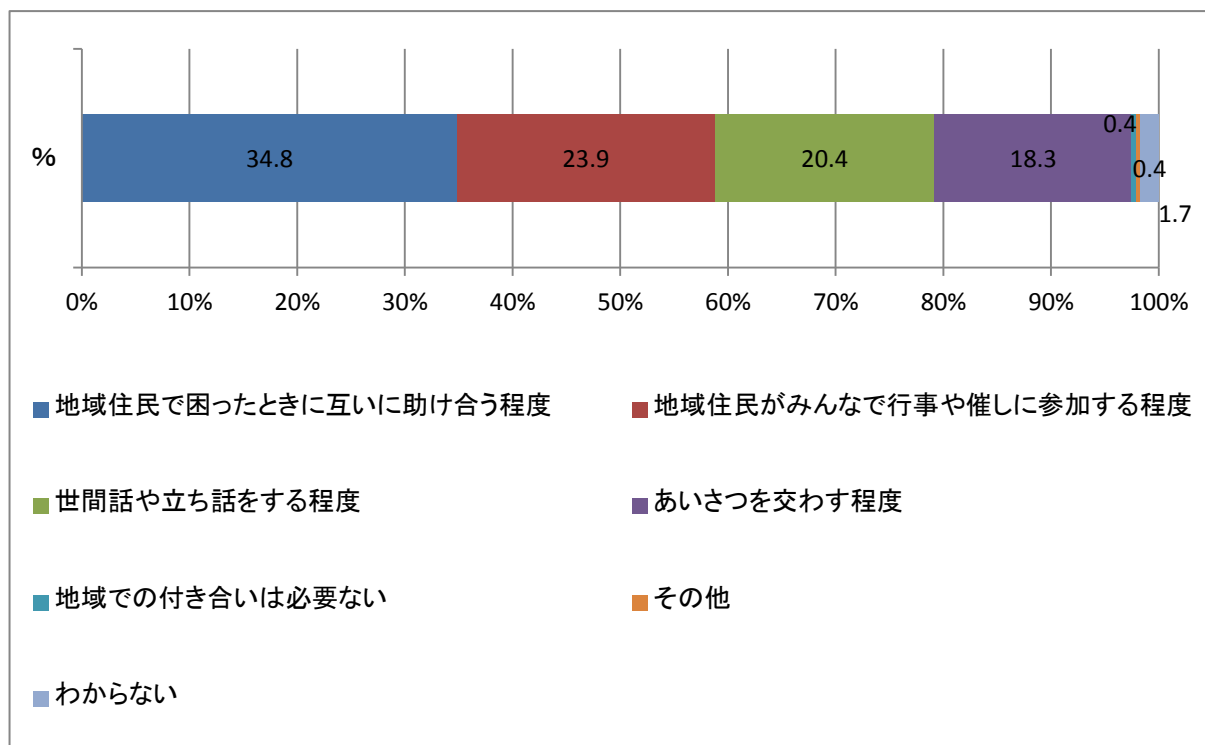
問3 あなた自身、地域での付き合いはどの程度ありますか。

回答	回答数	%
よく付き合いがある	19	8.3
ある程度付き合いがある	74	32.2
あまり付き合いがない	99	43.0
全く付き合いがない	34	14.8
わからない	4	1.7
合計	230	100.0



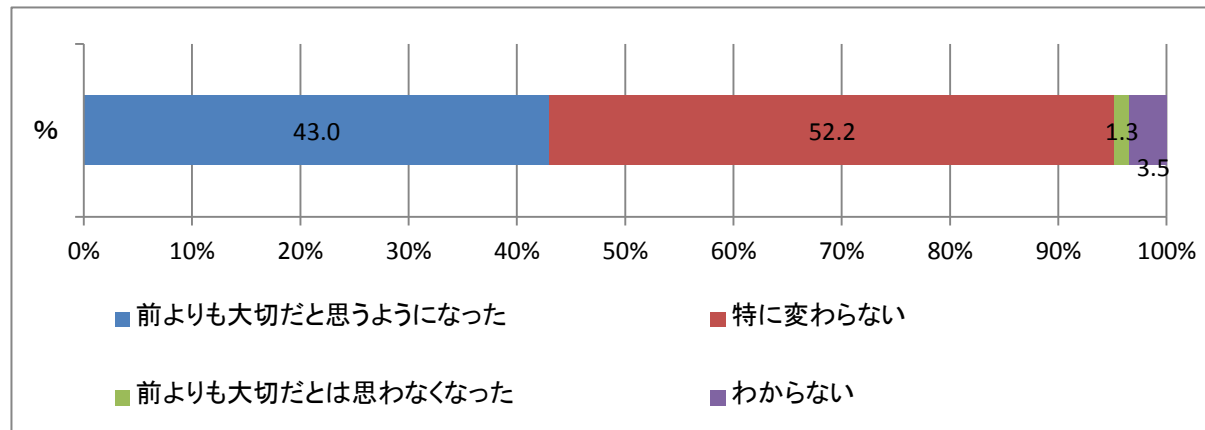
問4 地域での付き合いは、どの程度が望ましいと思いますか。

回答	回答数	%
地域住民で困ったときに互いに助け合う程度	80	34.8
地域住民がみんなで行事や催しに参加する程度	55	23.9
世間話や立ち話をする程度	47	20.4
あいさつを交わす程度	42	18.3
地域での付き合いは必要ない	1	0.4
その他	1	0.4
わからない	4	1.7
合計	230	99.9



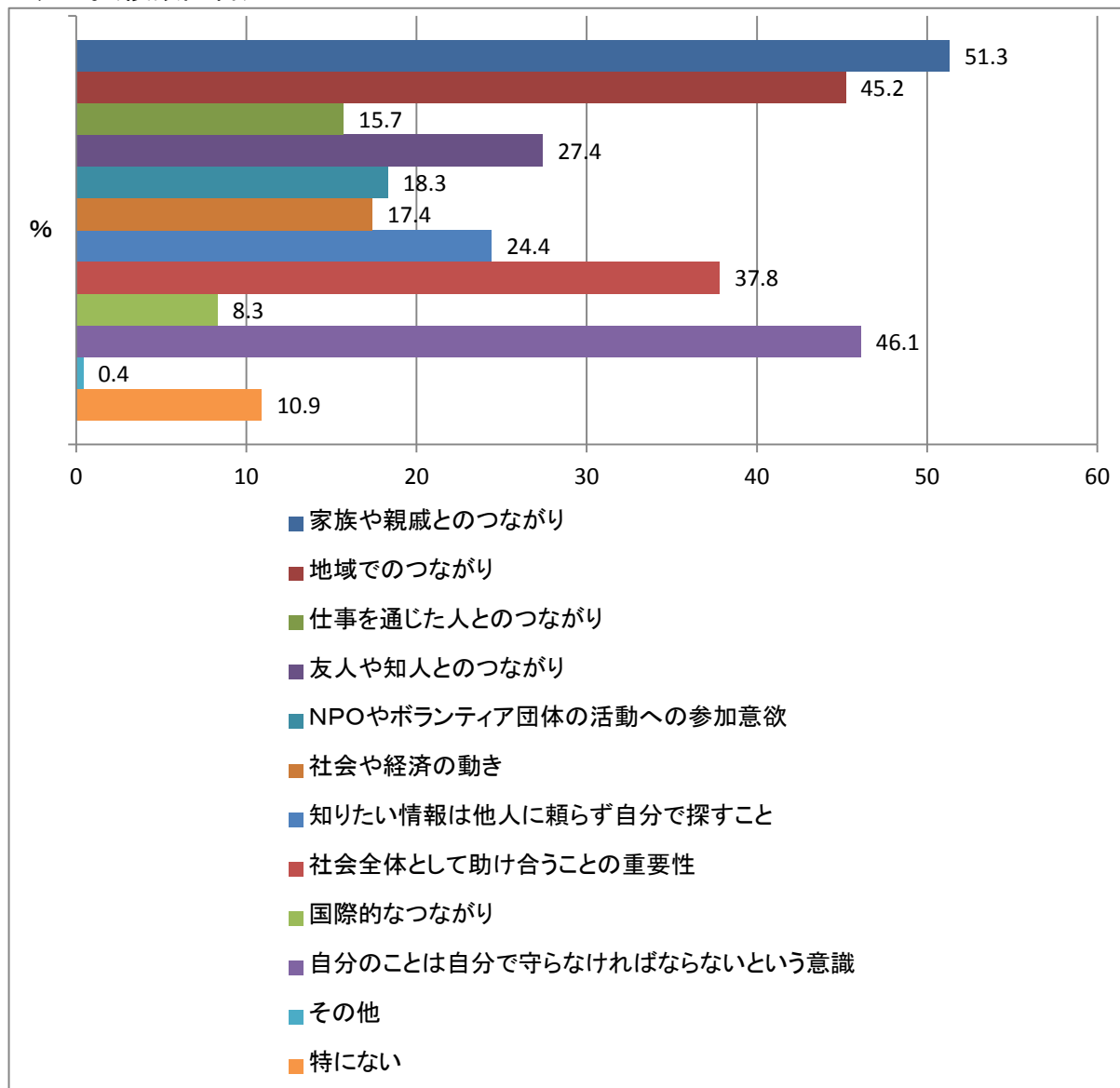
問5 あなたは、東日本大震災前と比べて、地域における結びつきについての意識に変化がありましたか。

回答	回答数	%
前よりも大切だと思うようになった	99	43.0
特に変わらない	120	52.2
前よりも大切だとは思わなくなった	3	1.3
わからない	8	3.5
合計	230	100.0



問6 あなたは、東日本大震災後、強く意識するようになったことはありますか。(複数回答)

回答	回答数	%
家族や親戚とのつながり	118	51.3
地域でのつながり	104	45.2
仕事を通じた人とのつながり	36	15.7
友人や知人とのつながり	63	27.4
NPOやボランティア団体の活動への参加意欲	42	18.3
社会や経済の動き	40	17.4
知りたい情報は他人に頼らず自分で探すこと	56	24.4
社会全体として助け合うことの重要性	87	37.8
国際的なつながり	19	8.3
自分のことは自分で守らなければならないという意識	106	46.1
その他	1	0.4
特にない	25	10.9



問6-1 「その他」と回答された方は、詳しくご記入ください。

・地震、津波、がけ崩れ、土砂崩れなど昔から被害にあった地域があり、そこには高齢者はできるだけ居住しないようにするとか、津波にも耐えるシェルターの開発、設置推進など本質的な対策を考え実施する。家屋の耐震化も費用があまりかからなければよいが、津波にはほとんど効果はない。

問7 地域における助け合い・支え合いについて、ご意見などがございましたら、何でも結構ですので教えてください。(この設問は任意回答です。) 主な意見を掲載しています(個人情報や固有名詞を除いて、原文に近い文章で掲載しています。)

- ・必要な時に互助できる知識や物資を準備し自立しておくことが大切。
- ・自治会の役員を積極的にさせていただいています。まずは、身近な自治会からと思い、地域のことを考えて取り組んでいます。
- ・自治会や老人会の活用。
- ・単身高齢者が増加してるので、助け合い活動が必要ではないか。市の制度として、助けた時間に応じてポイントを貰い、貯めたポイントで自分が無料で助けてもらえるシステムを作る。
- ・個人情報保護法の関係で上辺だけの付き合いしかできないのが現状で、非常に残念なことだと思います。
- ・「たすけて」と、声を出す勇気も大切ではないかと思いました。また、和歌山市では高齢者宅を巡回していないのでしょうか。
- ・地域での繋がり、助け合い＝深い付き合いでは無いと思います。必要な時だけ手を差し伸べる、が本当のつながりだと思っています。普段は立ち話位で、いざとなった時はお互い遠慮なく助け合えるのが理想です。
- ・絆交流会の開催をこのアンケートで知りました。
- ・行事となると負担に感じる場合があるので、もっとささやかで気軽にみんなで話題にできるものがあるといいですね。
- ・あいさつが一番だと思う。
- ・小、中学生の見守り活動が特に和歌山市では、希薄だと思います。
- ・行政の指導による地域活動が必要です。
- ・地域のつながりが持ちやすい、イベントなどきっかけがあればと思います。
- ・将棋倶楽部、鉄道模型クラブ、などのような趣味的な会合をコミュニティセンターにて日常的に設営。
- ・和歌山市ならではの独創的な仕組みを皆で考え、全国トップクラスの地域施策を是非実現していきたい。まず、絆づくり交流会の広宣活動を徹底的に行って欲しい。
- ・周辺は年寄りばかりで、地域振興というより若者に押し付けられる雰囲気がある。
- ・マンション住まいでも気楽に参加できる雰囲気を作ってもらえれば。
- ・何かの連絡を回す時に、具体的にどんな手助けが必要か、出来る人を募るような言葉を添える。
- ・地域防災が急務だと思うが地域で避難訓練もなく、近所と顔を合わせる機会がないのが不安です。
- ・地域ぐるみの防災訓練と教育を頻繁に行うのが良い。ただ目先を変えたやり方をしないと参加者がすぐに少なくなりそうなので、レクリエーションを兼ねた催しみたいなのは考えられないだろうか。また、市の催しでは開始時に司会者から「今地震が起きたらどの道を通ってどこに逃げて下さい」という具体的な説明を率先して行うとその瞬間だけでも思いを巡らすことになり教育の一環になる。又他の主催者にも波及していくのではないだろうか。
- ・助け合い、支え合う精神はいつも持ち合わせているつもりですが、実行となると一歩引いてしまう。まずは、自分のことは自分で守る。
- ・お年寄り、子ども達に不安や孤独を抱かせない町でありたいです。核家族が増え、身近にお年寄りがいない子どもが増えています。お年寄りと接する機会を子ども達にもっと持たせてあげたいです。
- ・スポーツで知り合いになって絆が深まったら良いと思います。

- ・現在各地域で活動している内容を知りたいです。
- ・地域によって避難方法が違う。細やかにディスカッションする場が必要と思う。間違った避難方法をしているように思う。
- ・現在、ネット上で困ったときの相談や回答が情報交換され、費用もかからずに大変役に立つことも多い。このような仕組みを行政や地域、町内でも情報交換できるサイトがあるとよいと思う。
- ・地区名と住所の呼び名が違うので、いつも戸惑います。催しがあっても、地元ではないので参加しにくいです。
- ・震災を機にご近所のつながりも大切だなと感じますが、会ったら挨拶程度でお名前も知らないばかりです。深入りするのもどうかと感じますが、せめてお顔とお名前が一致するくらいになりたいなと感じます。防犯にも繋がると思います。
- ・プライバシーの問題、また人それぞれの事情、人格品格等、難しいこともあると思います。相手によって、まったく思いもしないとらえ方をされる事がある。
- ・個人の価値観で決めること。行政は後ろでサポートする程度が良いと思う。
- ・防災訓練を自治会の班単位で行うようにすればどうでしょうか。自治会組織を中心に運営する方法を検討すれば、最も効果が上がるように思います。
- ・超高齢化社会を迎え、老人を支える交流会として、地域に「サロン」的な施設がほしい。
- ・元気な高齢者が簡単に組みあがるボランティア等があればと思います。
- ・何か大事が起こったりした時のために、地域などの身の回りは意識はしておこうという気持ち以外はあまり深くは考えていない。
- ・地域での助け合い、交流の拠点として、また防災拠点として、北部の和歌山大学周辺の高台の地域に、市のコミュニティセンターを置く必要がある。
- ・自治会とか町内会は回覧板のまわし読みのみ。絆づくりのため月1回くらい住民が自主的に寄り合うようテーマをつくって行政が仕掛けてはどうか。
- ・ご近所付き合いに限らず、広く地域とかかわることができる活動をしたいと思います。そのために、メールマガジンや掲示板があるとよいと思います。
- ・子どもが小さいうちは地域とのかかわりが深いですが、子どもが大きくなるにつれ、薄れていくように思う。清掃活動などを通じて大人世帯でのつながりもキープすべきかと思う。
- ・考え方の違いなどを尊重し合えるならいろんな人と親しくしていきたいが、皆が同じでないといけないという風潮や押し付けがあって尊重し合えないから、親しくしようとすると難しさやストレスの方が大きい。だから自分には無理だと思う。だから助け合いや支え合いができない。
- ・多少煩わしくても、婦人会、青年会、こども会のような組織があるのは地域としては良いのだなと感じます。私も含めて自分の事で精いっぱいなのは長い目で見てマイナスだと思っています。
- ・町内会の役員等が積極的に割り振りを行う。
- ・週2回位防災訓練などを行い、それに参加した後交流会を開くと、地域の住民の方の絆がぐっと深まると思いました。

☆お忙しい中、アンケート調査にご協力いただきまして誠にありがとうございました。おかげさまで多くの貴重なご意見を頂戴することができました。いただいたご意見を参考に、地域のつながりを深め、より暮らしやすい地域づくりを進めるための施策を検討していきたいと考えておりますので、今後とも皆様方の更なるご理解とご協力をお願いいたします。